

科目名	老年期障害作業治療学	担当教員	久保勝幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	2単位	講義

科目概要	超高齢社会の現代は、高齢者の生活障害を予防・改善し、生活の質を高める作業療法介入が重要視されている。老年期の作業療法では、全身状態の調整、日常生活活動の遂行支援、余暇活動の遂行支援、環境の調整、心理的サポートなどが直接的介入として行われている。そこで本科目では、老年学で学習した加齢に伴う心身の変化を踏まえた上で、加齢や老年期の病理に起因する生活障害を理解し、主として維持期（生活期）に関わる対象者への直接的介入方法について講義を行い、制度を踏まえた実践や他職種との連携に対応できる知識を習得する。
学習目標	高齢社会の現状について理解する。 老年期の生活障害について理解する。 老年期障害に対する直接的介入について理解する。 代表的な老年期障害に対する作業療法実践について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	老年期作業療法の理念と役割	老年期作業療法の理念と目的、歴史的変遷 老年期における作業療法士の役割と形態	老年期作業療法における作業療法士の役割の変遷について理解する	
2	高齢社会	高齢化の進展 高齢者のライフスタイル	高齢者のライフスタイルの特徴と作業バランスについて理解する	
3	高齢者関連の保健・医療・福祉制度	高齢者関連の保健・福祉・医療制度の変遷 現在の高齢者関連の法制度	高齢者関連の法制度について理解する	
4	老年期の特徴-1	老年期における生活課題	老年期における生活の特徴を理解する	
5	老年期の特徴-2	加齢と生活機能遂行要素(1) 身体機能	高齢者の身体機能の特性と作業遂行との関連を理解する	
6	老年期の特徴-3	加齢と生活機能遂行要素(2) 精神機能	高齢者の精神機能の特性と作業遂行との関連を理解する	
7	老年期作業療法のプロセス	評価、解釈、目標、介入 理論に基づいたプロセス	老年期作業療法のプロセスを理解する 老年期作業療法の目標を理解する 老年期作業療法の主要な介入方法を理解する	
8	直接的介入-1	全身状態の調整	全身状態の調整方法について理解する	
9	直接的介入-2	日常生活活動の遂行支援	日常生活活動の遂行支援方法について理解する	
10	直接的介入-3	余暇活動の遂行支援	余暇活動の遂行支援方法について理解する	
11	直接的介入-4	物理的環境の調整 家族・介護者に対する指導 心理的サポート	物理的環境の調整方法について理解する 家族・介護者に対する指導内容や方法について理解する 心理的サポートについて理解する	
12	老年期障害別作業療法-1	虚弱高齢者・廃用症候群	虚弱高齢者・廃用症候群に対する作業療法実践について理解する	
13	老年期障害別作業療法-2	認知症・老年期うつ病	認知症・老年期うつ病に対する作業療法実践について理解する	
14	老年期障害別作業療法-3	健康高齢者に対する予防	健康高齢者に対する予防作業療法実践について理解する	

15	総括	老年期における作業療法の役割	老年期作業療法の役割について議論することができる
	評価方法	筆記試験（100%）	
	教科図書	作業療法学全書改訂第3版第7巻作業治療学4老年期 協同医書出版社	
	参考図書	クリニカル作業療法シリーズ高齢期障害領域の作業療法 中央法規出版 標準作業療法学専門分野高齢期作業療法学第3版 医学書院 老年期の作業療法第2版増補版 三輪書店 高齢者のその人らしさを捉える作業療法 文光堂 高齢期における認知症のある人への作業療法 三輪書店	
	学習の準備	作業療法評価学、作業療法評価学演習Ⅰ・Ⅱの老年期障害に関する部分を復習しておくこと 教科書の該当部分を事前に読んでおくこと	
	オフィスアワー	講義1回目のガイダンスで説明する。	
	担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験		